

# PARK HOSPITAL®

2025

August

TAKE FREE

特集

こころからだのつらさを和らげ、自分らしく  
**緩和ケア病棟**



市民病院内の旬な人や出来事を紹介する **PARK HOSPITAL NOW**

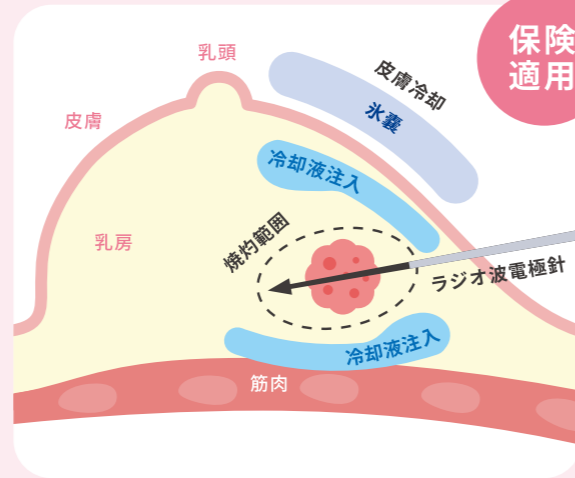


## 「切らない治療」

はしょうしゃくりょうほう  
早期乳がんに対するラジオ波焼灼療法を開始しました

当院は、乳房を切らずに治療できる「乳がんラジオ波焼灼療法(RFA)」の認定施設です。RFAでは、周囲の皮膚や筋肉への熱傷を予防しながら、細い電極でがんを焼いて治療します。乳房にメスを一切使用しないため、乳房の形を保つことができます。術後の痛みや傷跡が少なく、身体への負担も軽減され、早期の社会復帰が可能です。患者さんの生活の質(QOL)向上に貢献する、新しい乳がん治療法として期待されています。

※RFAの適応となる乳がん患者さんは、しこりの直径が1.5cm以下の単発腫瘍であることなど、条件があります。適応条件やメリット・デメリットについて詳しくお知りになりたい方は、当院乳腺外科の初診またはセカンドオピニオン外来をご受診ください。



保険適用

ホームページもご覧ください

横浜市立市民病院 乳がんRFA

検索

### 病院からのお知らせ



### LINEで初診予約ができます

- 24時間365日予約可能です。2診療日以降の日にのみご予約できます。
- お急ぎの方は、予約センターまでお電話ください。
- 当院でのご出産をご希望の方や、感染症内科・女性総合外来など、一部の診療科につきましては、お電話でのみご予約を承っております。

LINEで横浜市立市民病院を友達登録

登録用  
二次元コード



### 外来でWi-Fiサービスの提供をはじめました

利用可能エリア

診療棟:地下1階、1階、2階手術家族控室、ICU・HCU家族控室

くわしくは  
こちら



### 横浜市立市民病院

診療  
受付

月曜日から金曜日 (土曜日、日曜日、祝日  
及び年末年始は休診)

初診の方は、紹介状をお持ちください

- 初診の方 午前8:00~11:00 (診療開始8:45)
- 再診の方 午前8:00~11:00 (診療開始8:45)



### 救命救急センターでの受診について

- 平日日中 原則、救急車で搬送された患者さんのみ受入れを行っています。
- 夜間・休日 必ずお電話にて連絡の上ご来院ください。

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1-1 ☎ 045-316-4580 代

編集・発行:横浜市立市民病院 編集協力:ブランケットクリエイティブ 発行日:2025年8月 無断転載禁止

掲載写真について:新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に講じた上で、写真撮影時のみマスクを外しています。ご理解いただきますようお願いいたします。





# こころとからだのつらさを和らげ、自分らしく 緩和ケア病棟

市民病院の最上階に位置し、穏やかな時間が流れる緩和ケア病棟。こころとからだのつらさを和らげ、患者さんが自分らしく日々を過ごせるようサポートしています。スタッフは、どのような思いで日々のケアに励んでいるのでしょうか。緩和ケア内科長の斎藤医師と、緩和ケア病棟の鈴木師長に話を聞きました。



緩和ケア病棟の病室はすべて個室です。患者さんがくつろいで過ごせる、ゆったりとした空間です。



病棟入口。静かで落ち着いた雰囲気です。



患者さんの状況に合わせてベッドのままテラスに出ることもできます。



## 01 市民病院の緩和ケア病棟とは、 どんなところですか。

斎藤：つらい症状を和らげ、患者さんやご家族のQOL（生活の質）を高めることを主な目的とした病棟です。がん患者さんを中心に、身体的・精神的な苦痛や療養生活に伴う不安の緩和に焦点を合わせていることが特徴です。生活の場としてくつろげる空間を目指しており、カーペット敷きの広々としたデイルームや、富士山が望めるテラスなどを備えています。病室はすべて個室で、生花の持ち込みやペットとの面会も可能です。

## 02 患者さんへの関わり方などで、 大切にしていることを教えてください。

鈴木：この病棟にいる患者さんの多くは、これまでに長く大変な治療を乗り越えてきた方々です。だからこそ、肩の力を抜いてリラックスして過ごしていただけるよう、入院生活を支えたいと思っています。笑顔であいさつする、気持ちを傾聴するなど、日頃から意識していることは多いです。共に過ごす時間を大切にして、患者さんとの信頼関係を築けるよう努めています。

斎藤：確かに、ここの看護師は、患者さんとの距離感がとても近いですね。つらい症状を抱える方々に共感し、思いをくみ取りながら対応を検討することに長けていると感じます。私も病棟を頻繁に回診し、患者さんと目線を合わせながらお話しすることを重視しています。「また明日お

会いましょう！」とハイタッチすることもありますよ。

鈴木：患者さんの誕生日にはお祝いのカードを渡し、その日のスタッフが集まって歌のプレゼントをしています。ある患者さんは、歌の後に「100歳まで生きるぞ！」と元気に言ってくれて、ご家族も感激していました。こうした笑顔を引き出すような取り組みは、免疫力向上につながるという意味でも大切にしたいですね。

斎藤：いわゆる治療が難しくても、医療にできることは想像以上にたくさんあります。医師の立場から、ただ単に痛みのコントロールなどの「処置」を行うと考えるのではなく、真心を込めた「手当て」になるよう心掛けています。チーム一丸となって、人生の最終段階までを力強く支えたいです。

## 03 最後に、患者さん・ご家族の方への メッセージをお願いします。

鈴木：患者さんご家族がどう過ごしたいのか、その気持ちを大事にしたいと考えています。困りごとやつらさを和らげられるよう、スタッフ全員でサポートさせていただきます。

斎藤：がんなどの疾患では、治療の初期段階から緩和ケアを視野に入れることが一般的になっています。特殊な領域だと構えず、「つらい症状を和らげる専門家がいて、専用の病棟がある」「つらい時は頼ることができる」ことをまずは知ってもらいたいです。興味がある方は、ぜひ一度見学に来てください。



左

緩和ケア内科長  
緩和ケアセンター長

斎藤 真理

MARI SAITO

右

緩和ケア病棟  
師長

鈴木 美佐代

MISAYO SUZUKI

# 緩和ケア病棟のご紹介

## 緩和ケア病棟の理念

患者さんが「その人らしく」穏やかな毎日を過ごすために、からだやこころのつらさを和らげることを目指しています



## 安心して過ごしていただくための施設

01



### 病室

25床ある病室は、すべて個室。ペットと過ごすこともできます

02



### ダイルーム

自由にご利用できるスペースです

03



### 家族控室

ご家族は、患者さんと24時間面会可能。宿泊もしていただけます

04



### 富士見テラス

晴れた日には富士山を望むことができます

05



### 特殊浴室

寝たままの姿勢で入浴できる浴室です。他に通常の浴室もございます

06



### 廊下

足音が響かないカーペット敷き。壁は温かみのある木目調です

## 季節を感じられるイベントや飾り付け



● ハンドベルコンサート



● ダイルームの生け花



● 七夕

# 緩和ケア病棟 よくある質問



緩和ケアのことや病棟での過ごし方について、患者さんやご家族からよくある質問に病棟スタッフが答えます。

## Q 心のケアは受けられますか？

A. 身体のつらさと気持ちのつらさは、ご自身で区別できないことも多くあります。つらさや困りごと、ご希望などがありましたら、主治医や看護師にご相談ください。必要に応じて精神科医が病棟へ伺います。患者さんだけでなく、ご家族の精神的なサポートも行っています。



神経精神科医師 橋本 善太

## Q リハビリは受けられますか？

A. 痛みのコントロールを行った後に、体力や身の回りの動作を維持・向上できるようリハビリを行っています。ご自宅に戻られる方が心配なく暮らせるように、日常生活を想定した動作の確認や練習を行います。毎日をその人らしく過ごしていただけるようサポートします。



作業療法士 小倉 郁子

## Q 入院中はどのような薬を使いますか？副作用が心配です。

A. 痛み止めはもちろん、吐き気止めや、睡眠剤など症状に合わせてお薬を調整しています。お薬を増やすだけでなく、不要なものは減らし、お薬を飲むことの負担を減らすようにしています。副作用などご心配なことがあればいつでもお声掛けください。



薬剤師 辻 茉莉香

## Q 普段からあまり食欲がなく、病院の食事が食べられるか心配です。

A. 緩和ケア病棟に入院される方は食欲がない方が多くいらっしゃいます。体調や気分に合わせて果物や冷たいデザート、うどんやそうめんなど、食べやすいメニューや量に調整することができます。医師、看護師と連携してサポートしますので、食事についてお困りのことがあれば、遠慮なくおっしゃってください。



管理栄養士 森下 朋子



がん性疼痛看護認定看護師 松岡 弓子

## その「つらさ」まずはご相談ください

緩和ケアについて相談されたい場合は、担当医師や看護師にお伝えください。緩和ケアは、病気の経過にかかわらず、いつでも・どこでも受けることができます。当院では、患者さんやご家族が安心して過ごせるよう、切れ目のない緩和ケアの提供に努めています。また、「がん相談支援センター」では、どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご利用ください。

## PICK UP 緩和ケア病棟ボランティア「ランパス」です

毎日2~3名のスタッフが、マッサージをしながら患者さんのお話を伺ったり、ティータイムにはコーヒーや冷たいお茶などお好きなものをお持ちします。「話を聞いてくれてありがとう」と言われると、私たちの方が患者さんに励まされていると感じます。少しでも患者さんやご家族のお力になれば嬉しいです。



# 市民病院を支えるスタッフ PART-2

多くの患者さんが訪れる当院は、医療従事者以外にも、さまざまなスタッフが日々活躍しています。

## 看護補助者

### PC (ペイシェントサポートクルー)



### HC (ホスピタルサービスクルー)



### NA (ナースアシスト)



入浴や移動の介助を行うペイシェントサポートクルー、食事の配膳やベッドメイキングなどを行うホスピタルサービスクルー、夜間の看護補助業務を行うナースアシストが、看護補助者として、多くの場面で活躍しています。

患者さんが安心して入院生活を送っていただけるよう、看護補助者同士、看護師が密接に連携し、患者さんとの会話も大切にしながら働いています。

## 医師事務作業補助者

医師が集中して患者さんを診察できるよう、電子カルテ入力や診断書作成等の事務作業を補助することが主な役割です。日々のサポートを通じて、医療の質向上に貢献しています。



## 予防医療センター・アテンダント

人間ドックやがん検診を受診する方が、安心してスムーズに検査を受けられるよう、丁寧にサポートします。定期的に受診して下さる方が一年ぶりに来院して、久々にお顔を拝見するととても嬉しい気持ちになります。



## リネン

患者さんが使用する寝具類や職員のユニフォームの洗濯を担当し、清潔で高品質なリネンを提供することで、医療現場を支えています。誰かの安心や快適さにつながっていると思いながら、一枚一枚丁寧に扱っています。



## システムオペレータ

24時間365日、院内システムインフラの運用・監視・障害対応を一手に担っています。「緑の下の力持ち」として安定した医療サービスの提供を陰から支えるため、システムトラブルの未然防止や迅速な対応に努めています。



# 患者総合サポートセンターの取組

## 療養に伴うご相談をお受けしています

患者総合サポートセンターでは、患者さんの療養に伴う困りごとの相談をお受けしています。各病棟・外来に担当職員(医療ソーシャルワーカー・看護師)を配置。入院が決まった段階から退院後の生活までを視野に入れた支援を行っています。入院前の心身の状況や生活環境、在宅サービス利用状況、入院後の経過や今後の方向性などの情報共有を行い、患者さんやご家族が退院後も安心した生活ができるよう、多職種チームで協力して支援をしています。外来通院中の患者さんのご相談もお受けしています。

かかりつけ医などからの紹介  
市民病院からの逆紹介



入院に向けた準備  
(入院前面談)

患者さん

療養に伴う  
困りごとのご相談

- 在宅療養に関する調整・支援
- 地域関係機関との連携・カンファレンス
- 社会保障制度のご案内
- 転院に関する調整・支援

療養に伴うご相談を希望される場合は、予約をお願いします。

患者総合サポートセンター予約受付(平日9:00~16:30)

TEL:045-316-4580 (代表)



# 登録医療機関をご紹介します

片倉町あかり脳神経内科・内科クリニック (神奈川区)

【診療科目】脳神経内科・内科

当院は、脳神経内科疾患を主として診療を行います。診断に必須のMRI、CTを導入したクリニックです。症状を診るのはもちろん、皆様のお気持ちに寄り添い貢献することを探求してきました経験を活かし、より身近に脳神経内科疾患の患者様、およびご家族のかたを拝見し、支える存在になりたいと願っています。ほか一般内科診療、各種生活習慣病診療、禁煙外来なども行っております。お気軽にご相談ください。なお予約患者様を優先して拝見しておりますので、受診の際にはご予約頂きますよう、何卒宜しくお願いいたします。



受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	-	○	○	○
15:00~18:00	○	○	-	○	○	-

【休診日】水曜・日曜・祝日

〒221-0865 横浜市神奈川区片倉1-28-11 やまゆりメディカルブリッジ3階  
TEL:045-534-5589 URL:https://katakura-akari.com/

